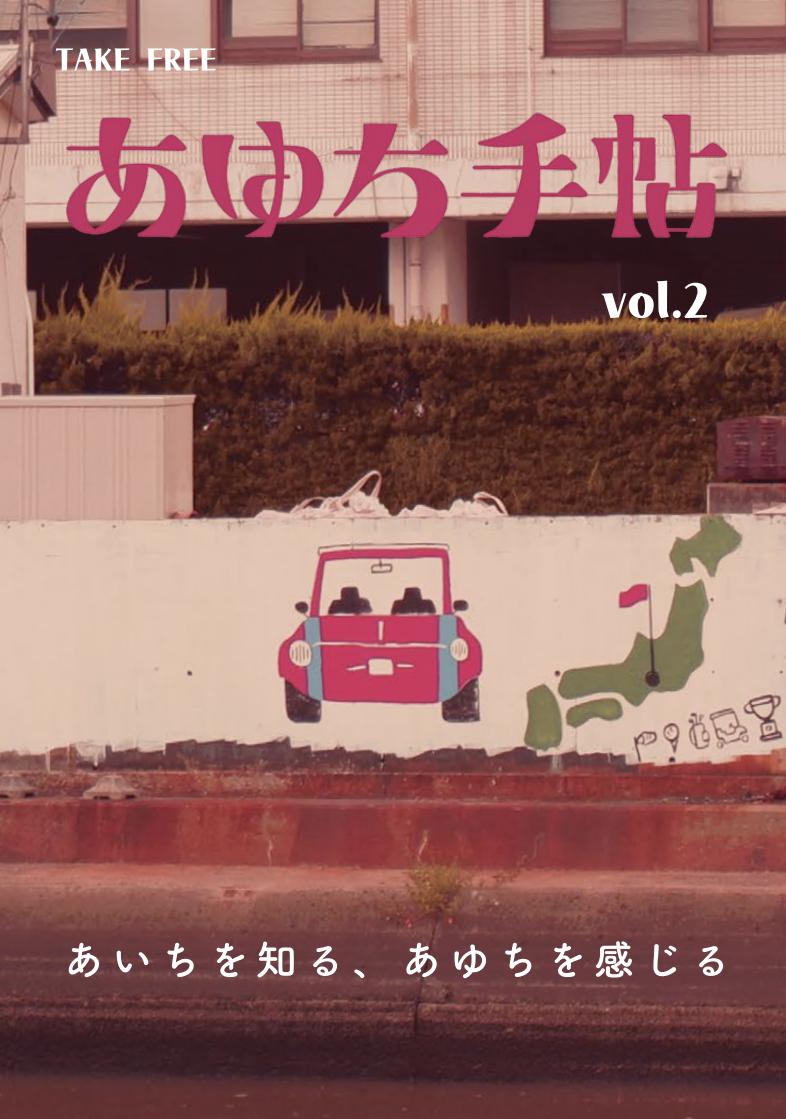


TAKE FREE

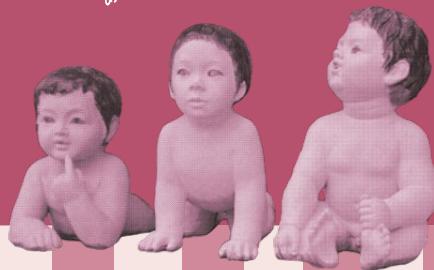
あゆち手帖

vol.2



あいちを知る、あゆちを感じる

あっぷぱー



〇ニ△十口
名古屋造形大学
NAGOYA ZOKKEI UNIVERSITY

おくりものに

あいちを知る、あゆちを感じる。



【はじめに】

「昔に戻りたいけど、戻れない」という寂しさを時々感じる。

見慣れた町並みも、よく通ってる喫茶店もいつかなくなってしまうかもしれないと思うと、少し切ない。

時代が移り変わっていくなかでも変わらずに引き継いでいきたいものがある。もう知ることの出来ない過去の人々の生活や気持ちも。私たちが産まれる前からこれまで続いてきたものにはきっと理由がある。

前回に引き続き、私たちはその文化や気持ちを追い、愛知県の古き良きものを皆さんに紹介します。遠い昔に思いを馳せて、古くから続くものの魅力を感じてほしい。



「あゆち手帖」とは？

あゆち手帖は、名古屋造形大学ソーシャル・クリエーションゼミに所属する六人の学生が、主に愛知県を拠点として、「ノスタルジック」をテーマに綴る一冊です。



学校帰りの喫茶店。

パソコンを広げてしまふのは気が引けるので、
単行本を取り出してコーヒーを片手に
それを眺めてみる。

読書をするために入ったように見せかけて
ちつとも内容など入っていないのだ。

なんとなくそこが心地よくて

立ち寄ってしまっただけ。

ただ格好だけはそれなりにつけてみたくなる。

お洒落なカフェへ友達と行つて
インスタに載せたり、

海にバーベキューに花火にお祭り。

夏らしいことをしてみたり。

それでも僕の幸せはこれでいい。

これがいい。



寄鶯館

きりょうかん

こだわり抜かれた1杯
自分好みの1杯がここに

取材の日、市バスで最寄りのバス停まで向かった。バスに揺られて向かう喫茶店は旅気分で不思議と気分も上がる。市バス島田バス停から歩いて2分のところ。とんがり屋根に風向計が特徴的な洋館風の喫茶店。

「豆の個性が全部でるように焙かない」とコーヒーも飲む人も喜ばないね」と語るマスターの牧さん。

昭和50年の創業以来マスター自ら焙煎するコーヒーは深煎りで最大限に引き出された豆の香りと風味を味わえます。

コーヒーだけでも50種類以上のメニューがあり、自分の好きな珈琲を見つけるのも魅力的です。

マスターのお店とコーヒーへの愛情は新たな魅力を教えてくれます。



寄鶯館（キリョウカン）

愛知県名古屋市天白区島田1丁目906
電話 052-803-5252
営業時間 9時～19時（早く閉まる場合もあります）
定休日 月曜日・第三火曜日

受け継がれる想いと
守られる名古屋文化

創業は昭和58年という老舗ですが、前のマスターは体調を崩してしまい続けられなくなっていました。初めは新しく自分たちのお店を開くつもりで物件を探していて、その時不動産屋さんの紹介でこのお店に出会ったそうです。

37年間このお店を守ってきたマスターの想い入れを聞くうちに「引き継ぎたい」という想いになりキティ珈琲店を受け継ぐことに。コーヒーの作り方は一からマスターに教えてもらい、新しく考案したメニューのほかにもともとマスターがやっていた焼きそばなども少しアレンジをして提供しています。

先代の意思を受け継いだお店は新たな歴史を紡ぎ、名古屋の文化を全国へ発信しています。



キティ珈琲店

愛知県名古屋市中区錦1丁目14-5
電話 052-211-5696
営業時間 平日 9時～18時
土日祝 8時～17時
営業時間等の変更はInstagramでご確認ください。

喫茶サンセン

今、若い人も魅了された
50年続く喫茶店



食品サンプルが並ぶ懐かしさを感じさせる店先。店内に入つてすぐのショーケースにも並ぶ食品サンプル。その中の一部はマスター自ら手作りしていると言います。

絵本に出てくるようなまんまるホットケーキは、注文が入つてからマスターが生地から作り銅板で焼いてくれます。クリーミムソーダは、5種類の色から選ぶことができ、今回はマスターがおすすめしてくれた紫色に。グラデーションがとても神秘的でした。

ここ数年女の子が増え、2割程は県外からも来るお客様もいると言います。気さくなマスターと穏やかな奥さんで営む昔ながらの喫茶店です。ぜひ昭和の喫茶店を感じ足を運んでみてください。

喫茶サンモリー

思わず写真におさめたい
レトロかわいいお店

地下鉄岩塚駅から徒歩5分ほど
のところ。青い瓦とレンガの壁が目
を引くそのお店がある。数年前か
らブームとなつたフルーツサンドがこ
こでも人気のメニュー。断面にクリー
ムが塗られ、フルーツがトッピングさ
れたバナナサンドです。ケーキのよ
うな可愛らしいフルーツサンドは、
ここでしか味わえません。

思わず写真を撮りたくなるよう
なかわいらしいメニューたち。お値
段も昭和を感じるリーズナブルさ。
お店の周辺も情緒溢れる街並みで、
名古屋市きつての下町エリアでもあ
ります。

夫婦ふたりで45年前にはじめた



内装もかわいらしい



喫茶サンモリー
愛知県名古屋市中村区五反町1丁目28-2
電話 052-691-3105
営業時間 6時~18時
定休日 水曜日

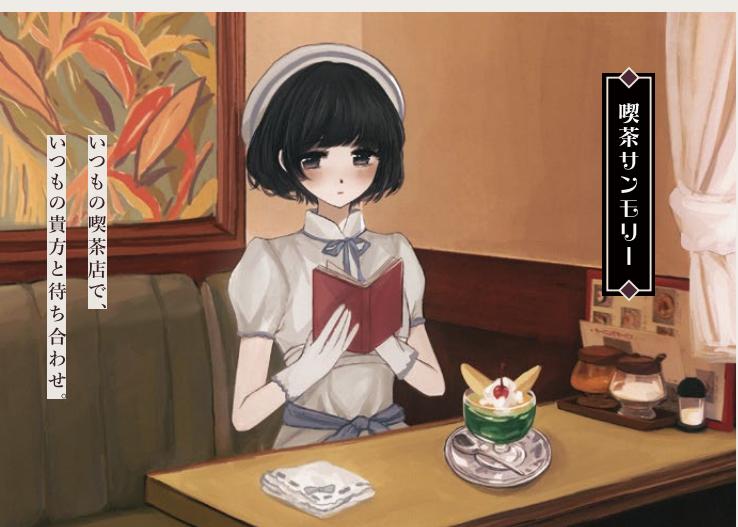


喫茶サンセン
愛知県名古屋市南区内田橋1丁目5-4
電話 052-691-3098
営業時間 6時~17時
定休日 月曜日・日曜日



喫茶彼女

文・絵 ほう



しつぽりと、
コーヒーフラテを楽しむ。



たら成形でカンタン！

陶芸体験



世界にひとつのみ
自分達の器が欲しい！
そう思うなら常滑で
作ってみては
いかがでしょうか？
陶芸体験を
STOREさんで、
今回はTOKONAME
させていただきました。

1

粘土の準備

筒状になった粘土を糸で薄く切って
沢山の型から自分が選んだものに
粘土を被せていく



3

完成！

最後に型から外して形を
整えて完成！
約一ヶ月後に焼き上がり



ひんやりとして、柔らかい常滑の粘土に
触れるているとなせ
かとつても心が落ち
着く。他のことを考
えずに夢中になれる
陶芸体験は心を穏や
かにする作用がある
ようです。
自分で作った器で食
べたご飯はより美味
しい。この器を使い
たいから料理をした
くもなるし、腕前も
上達しそう。
くもなるし、腕前も
買つてしまえば済む
ものをわざわざ手間
をかけて作つたり、
身の回りの事に少し
のこだわりを持つと、
毎日の生活が楽しく
なる。

受け継がれる伝統

tokonameyaki



常滑市にやつ
てきた。ここは焼
き物の歴史と文化が香
るまち。いつもよりも深
く息を吸いたくなるよ
うな、そんな空気。どこを歩い
ても常滑焼だらけ。まちと常
滑焼は切つても切れない関係
なのだ。今回はそんな常滑市
の伝統、常滑焼の歴史とこれ
からについて学ぼうと
TOKONAME STOREさんを
訪ねた。常滑の土に触れ、私
作り手の想いに触れ、私
たちはその魅力の虜
になってしまいま
した。

常滑焼



TOKONAME STORE OPEN:11:00-18:00 / 愛知県常滑市原松町6-70-2

陶芸体験のご予約、詳細は下記の TOKONAME STORE ホームページから

<https://tokonamestore.com/>

常滑焼で

地元を繋げる

常滑の伝統を
後世に残すために

どう魅力を伝える
べきか。さまざまな

取り組みを行なっている
鯉江さんにお話を伺いました。



常滑はどのように土地ですか？

A 常滑は道具を作る産地だと思ってる。常滑周辺の地域では酢や味噌、醤油のような発酵食品が有名で、それを保存するための甕(かめ)が常滑でつくられてたり、急須という難しいものを作ってきた職人が多いからか、クリエイティブな人が多い。地域の食文化と常滑焼と共に進んできて、それが常滑の魅力だと思います。

Q TOKONAME STORE さんのこだわりは？

A 素材の魅力をどう引き立たせるかが僕にとっては重要。例えば焼締めという方法で、土にあ直接色をつけて焼く。こうすることで、二年、三年、使っていくうちに艶が出てどんどん力だと思います。



TOKONAME STORE の倉庫の中には白い小屋が三つ並んでいます。

TOKONAME STORE の倉庫の一角。この中から器の型

南芸体験ワークショップを行う
小屋の一角。この中から器の型
を選び、形を決める。

どん自分の器に育っていくんです。

あと、店内にあるスピーカーも焼き物で作っています。それに使われてる素材は硬いものだからよく音が反響して良い音になるんですよ。なので、素材を何に使うかという事と、それにどう意味を持たせるかという事はよく考えています。

鯉江さんは、陶芸を通して子供たちに地元を好きになるきっかけを作っています。世代が変わって受け継がれていく常滑焼を想像していると、なんだか気分が明るくなります。

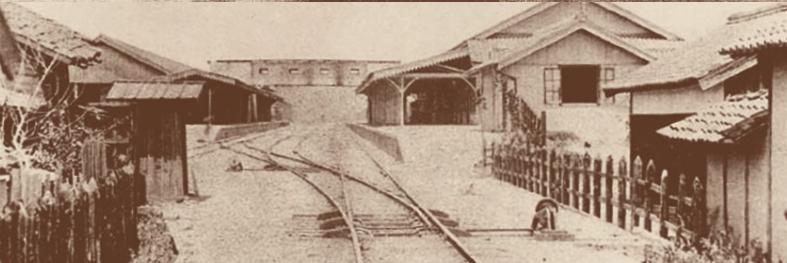
Q TOKONAME STORE さんの取り組みについて教えてください

A お茶碗プロジェクトを行っています。これは小学校や幼稚園で常滑焼の陶芸体験をして、できた常滑焼の器で給食を食べるという取り組みです。単に常滑焼を知つて欲しいという思いからではなく、大人になった時にこの体験から地元で育つたことを思い出して欲しいか



TOKONAME STORE
代表 鯉江 勇次さん

愛知県常滑市 窯元、山源陶業第3代目陶主、110 年前に TOKONAME STORE を開店。TOKONAME シリーズと「ハンドルカラ」の常滑焼を主体に販売・製造を行っている。



上 開設当時の名古屋駅（写真提供 名古屋市）

下 開設当時の名古屋駅のホーム（写真提供 Network2010）

名古屋駅の誕生秘話

開設までの歩み

名古屋駅の歴史を紐解いていくと、明治時代まで遡ります。当時の日本には、国を揺るがす一大プロジェクトがありました。それは東京と大阪を繋ぐ鉄道を作ること。候補として挙げられたルートは東海道と中山道の二つ。政府は内陸部を通る中山道ルートを使うことに決定。しかし、この決定に異を唱える者が一人。それは当時の名古屋市長。それもそのはず、なんとこのルートでは名古屋を経由せず岐阜や長野といった内陸部を通過します。そう、こ

のとまから「名古屋飛ばし」が始まっていたのです。もしもそのまま中山道に決まってしまうと、名古屋の今後の発展に大きな支障をきたすのは明白。何としてでも名古屋を経由する東海道ルートを使ってほしい。名古屋市長の熱い思いが伝わり、東海道線の開通が決定しました。

こうして初めて名古屋に駅ができたのは1886年（明治19年）のこと。初代名古屋駅は現在の中村区笹島町にて開設されました。現在と比べると、まだ小さな駅ですが、時代の変化と共に大きく変わっていくことになります。



名古屋駅の 知られざる歴史に迫る

一日に約69万人が利用する名古屋駅。誰もが知るこの駅は一体どういう経緯で作られたのか、私たちの知る名古屋駅になるまでどんな軌跡があったのか。今回はそんな愛知が誇る巨大な駅の歴史に迫っていきます。

写真・文 廣瀬 結

JR名古屋駅接続口付近にある「金時計」。JRセントラルタワーズの完成3周年を記念して2002年に作られた。現在は名古屋駅の待ち合わせスポットとして知られている。

名古屋駅の発展と移転劇

初めて名古屋に駅が出来てから5年。地震で全壊し、その翌年に2代目駅舎が建設されるなど、「波乱あつた名古屋駅」。しかし名古屋の街が発展するとともに駅も活気のあるものになっていきます。

抱えていた問題

関東と関西の往来が盛んになると同時に私鉄の関西鉄道や官営鉄道線が名古屋駅を中心にも治見まで開業。これにより名古屋駅は複数の路線が乗り入れる巨大な駅へと成長しました。駅が大きくなるにつれて、利用者も年々増えていき1920年（大正9年）にはなんと、300万人を越えるようになります。

大正時代中頃の名古屋駅前（写真提供 Network2010）



完成間近の名古屋駅を通り蒸気機関車（写真提供 名古屋市）



建設中の名古屋駅（写真提供 Network2010）

東洋一から現代へ

苦難を乗り越えて

1937年（昭和12年）

笛島から北へ200mほど先にできた3代目名古屋駅。鉄筋コンクリート製の地上6階、地下1階という造りは、当時「東洋一」といわれた程立派なものでした。こうして名古屋の新しいシンボルとして街の

人から愛されていった3代目名古屋駅ですが、1945年（昭和20年）の大空襲によって街は焦土と化します。名古屋駅も大きな損傷を受けましたが、奇跡的に焼失を免れ、戦後も変わることなく名古屋の玄関口として多くの人に利用されました。

このようにに戦火を乗り越えた3代目名古屋駅も老朽化により1993年（平成5年）に取り壊されます。1999年（平成11年）に名古屋駅の建替え工事が終了し、「JRセントラルタワー」が完成。こうした軌跡の上に、現在の名古屋駅があるのです。



大正時代中頃の名古屋駅内（写真提供 Network2010）

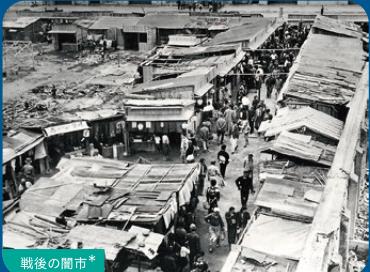


左 大正時代中頃の名古屋駅前 / 右 大正時代中頃の名古屋駅構内（写真提供 Network2010）

しかし、ここにある問題が発生。駅のホームがわずか3面しかないので電車の待機が出来ない、駅前が狭く車や人で混雑して危険、と増加した利用者の需要に対し供給が足りていないという状況に陥ってしまったのです。駅側も待合室を増やしたり、跨線橋（線路を超えるための橋）を作ることで尽力しましたが、どうにもならない限界を感じ、これら問題を解決するため名古屋駅の移転を決定します。

1926年（昭和元年）には移転先の土地の買収を開始。ついに1934年（昭和9年）3代目名古屋駅の建設工事が始まつたのです。

名駅の「裏」のミライ



戦後の闇市*

駅西は「リニアが貫通する街」で、地域の再開発が推し進められています。それに伴い、古くから残る数多くの店舗が立ち退きを迫られ、昭和のディープな建物の撤去が着々と進行しています。

名駅に訪れた際は、未来の名古屋の玄関口として変化を遂げる「駅裏」を、ぜひ覗いてみてください。



駅西銀座通商店街

名駅トリビア なぜ「めいえき」と呼ばれるの？

江戸時代の百科事典で、名古屋城を「名城（めいじょう）」と記載したことから、名古屋を「めい」と略して呼ぶようになったのが事の発端です。1930年頃には、名古屋駅が「名駅」と広く呼ばれるようになりました。

参考文献 [・柴垣勇夫『中村区まち物語』風媒社（2019）](#)

[・名古屋市「新たな路面公共交通システム【SRT】の導入に向けて」
https://www.city.nagoya.jp/jutakutoshi/page/0000089453.html \(2023\)](#)

[・名古屋市「リニア中央新幹線の開業に向けた都心まちづくり」
https://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-10-20-0-0-0-0-0-0-0.html \(2023\)](#)

*写真提供：Network2010 文：あゆみ編集部 武藤

メイエキ 名駅のミライ

名古屋駅とその周辺地域では、現在リニア中央新幹線の開業に向けた再開発が進んでいます。乗り換え利便性の向上などの様々なプロジェクトを掲げ、国際レベルの「スーパーターミナル駅」となることが期待されています。

名駅とまちづくり

名古屋市では、2027年のリニア開業を受け、名古屋駅周辺のまちづくりに関する方針を打ち出しています。

「駅、人、まち」の繋ぎを強めるため、より良い道路空間の形成や、SRT (Smart Roadway Transit)と称した新たな路面公共交通システムの導入を検討しています。

名駅から栄・大須・名城地区における回遊性が高まり、観光客だけではなく、名古屋で暮らす人たちにとっても、もっと便利で面白いまちになりそうです。



2029年の名古屋駅*



あゆち手帖

vol.2

発行日 2023年08月05日 第1刷発行
2023年10月10日 第2刷発行

編集集 名古屋造形大学 情報表現領域
ソーシャルクリエーションゼミ

編集長 方澤琨

副編集長 廣瀬 結

編集部員 高橋 勇次

梅田 和果

佐伯 吉望

武藤 由芽

発行元 名古屋造形大学

あゆち手帖 公式SNS

Twitter

https://twitter.com/ayuchi_techo

@ayuchi_techo >>



あとがき

お店の雰囲気、店主の人柄、こだわりの珈琲。ちょっと疲れてしまつてゆっくり過ごしたいときや、純粹にコーヒーを楽しみたいとき、純喫茶に足を運んでみませんか？

喫茶店の雰囲気は今からでは作り出せない特別な空間です。自分だけの居場所を見つけてみるのはどうでしょう。

高橋・方

愛知には六古窯の内の二つ、常滑焼と瀬戸焼があります。その伝統の大切さを深く知るため、今回は常滑焼の職人さんを尋ねました。陶芸体験では土に触れることの楽しさ、完成した焼き物から伝わる食の温かみを知ることができました。皆さんにもこの感動が届いたらうれしいです。

佐伯・梅田

交通機関は、地域に良くも悪くも絶大な影響を与えてきました。昔ながらの愛知地方最大のターミナル駅である名古屋駅を取り上げました。是非この手帖を片手に、名駅の歴史とミニライを感じながら、現地を歩いてみてください。

武藤・廣瀬

純喫茶

常滑焼

名駅特集